

令和元年度公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰受賞

現在、セルリオ島根監督、島根県ホッケー協会副理事長を務める小櫻和裕さんは、公認スポーツ指導者の資格習得後、横田高校ホッケー部監督として選手を指導し、幾度も全国大会優勝に導くとともに、国民体育大会では、島根県少年女子チームの監督として4度日本一に導くなど優れた指導力を発揮されました。島根県のホッケー振興・競技力向上に貢献したいことから、その功績が称えられ、公益財団法人日本スポーツ協会から日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰を受賞されました。



指導者歴約40年。最も印象的な試合は？

平成7年に地元で開催されたインターハイでの横田高校女子チーム準決勝の試合です。相手に2点リードされ残り時間10分。必死で追いつき引き分けて試合が終了しました。ペナルティストローク戦で相手にリードされるも、追いつき、引き分けて、サドンデス戦に突入しました。相手の1人目が外し、横田高校が見事にゴールを決め、決勝進出が決まりました。決勝でも2-0で勝ち、優勝することができました。



▲平成7年のインターハイで優勝し、横田高校女子チームに胴上げされる小櫻さん

「日本政策金融公庫」と「奥出雲町」が産業振興等に関する包括的協力協定を締結

12月23日、日本政策金融公庫との「産業振興等に関する包括的協力協定」締結式が、立元松江支店長をお迎えし、植田商工会長の立会のもと役場仁多庁舎で行われました。

包括的協力協定の内容は、①情報発信の協力②移住定住の促進③事業を営む方への支援④創業・就農及び国の教育ローンの相談等についてです。

昨年3月19日には、日本政策金融公庫の協力を得て、広島市基町地下街シャレオ中央広場にて「観光×物産×移住フェアin広島」を開催しました。奥出雲町へ移住された方に、ゲストスピーカーとして登壇していただき、生活の様子やUIターン支援について、自ら経験された生の声を届けていただきました。

また、会場では、仁多米、菌床しいたけ、舞茸、野菜など奥出雲町の特産品の販売も行われ、たくさんの方に奥出雲の食の魅力を知っていただきました。

今後とも、日本政策金融公庫と連携・協力し、町の課題を解決してまいります。



▲勝田町長(左)と日本政策金融公庫立元松江支店長(右)



▲昨年3月に広島市で開催された「観光×物産×移住フェアin広島」の様子

環境にもお財布にもやさしい生活にチャレンジ!!

冬場の暖房費は奥出雲に住んでいると頭の痛い問題ですね。エアコンの中に埃が詰まると、空気を吸い込む力が弱くなり消費電力もアップするって知っていませんか？エアコン内部の埃やカビは病気の原因にもなります。エアコンの本格的な掃除は業者に依頼する必要がありますが、自分でできる日常のメンテナンスも大事です。まずは2週間に一度のフィルター掃除、冷房運転後には内部乾燥運転、室外機にもゴミが詰まっていないか確認を。フィルターの目詰まりがなくなると消費電力が6%削減されるというデータもあります。石油ファンヒーターも同様に、フィルターの掃除をしましょう。



未来のために、いま選ぼう。

地球温暖化防止対策地域協議会・エコナйт(奥出雲町在住しほねエコライフサポーターの会)



第21回米・食味分析鑑定コンクール国際大会in木更津

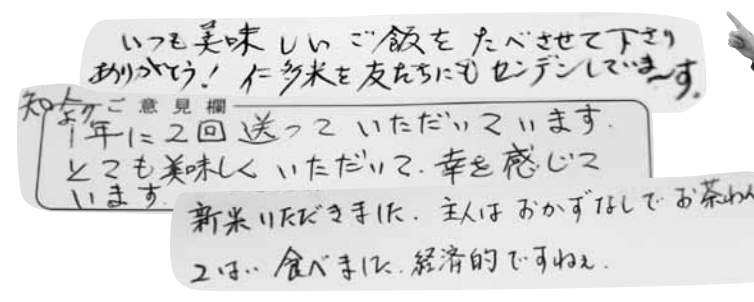
11月30日、12月1日の2日間、米のオリンピックである第21回米・食味分析鑑定コンクール国際大会が千葉県木更津市で開催され、「奥出雲仁多米株式会社 おいしい仁多米をつくる会」が国際総合部門で3年連続9回目の金賞を受賞しました。

国際総合部門に出品された4,823点のうち1次、2次審査で食味分析計や味度計での審査を通過した42点の米が3次審査に進みました。3次審査では、30名の審査員が食べ比べて、「外見・香り・粘り・堅さ・うま味」を基準に審査し、各賞を決定します。金賞に輝いたのは18点のみで、西日本では「奥出雲仁多米株式会社 おいしい仁多米をつくる会」を含め、2団体が受賞しました。

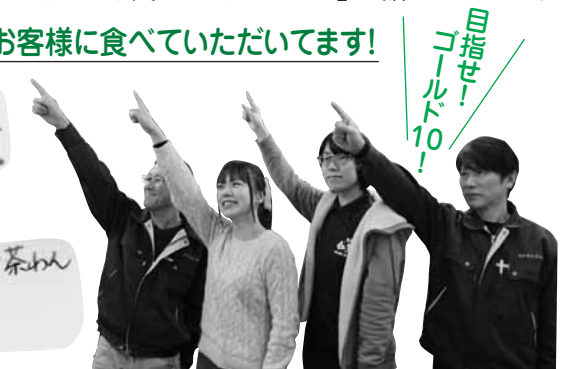
コンクールに出品した内田部長は、「会場で、他の団体から『視察に行きたい』と依頼があり、仁多米の知名度が上がってきていると実感した」と話されました。

金賞を10回獲得すると「ワールド・ライス・アワード・ゴールド10」に認定されます。現在、認定されているのは、群馬県川場村(かわばむら)と長野県木島平村(きじまだいらむら)、そして、今年10回目の金賞を受賞した福島県天栄村(てんえいむら)の3ヶ所のみで、来年、「奥出雲仁多米株式会社 おいしい仁多米をつくる会」が金賞を受賞すると、4ヶ所目となり、西日本唯一となります。最後に内田部長は「来年も金賞を取り、さらなるブランド化を進め、多くの方に仁多米を知ってもらい、食べてもらいたい」と話されました。

仁多米は北は北海道、南は沖縄まで日本各地のお客様に食べていただいています!



お客様から奥出雲仁多米(株)に届いた仁多米の感想



▲奥出雲仁多米(株)の皆さん

第24回中四国中学生選抜剣道大会



▲選手宣誓をする吉原桃胡姫選手(右)と小川亮馬選手

11月30日から12月1日にかけて、奥出雲町民体育館で第24回中四国中学生選抜剣道大会が開催され、各地から約300名が出場しました。

出場校が3校ごとにA~Hブロックに分かれ、予選リーグが開催されました。各予選リーグ1位の学校が、決勝トーナメントへの権利を獲得します。奥出雲町からは、仁多中女子団体が予選を勝ち抜き、決勝トーナメント1回戦で香川県龍雲中と対戦し、惜しくも敗れベスト8でした。

みんなで人権について考えよう 「人権標語・イラスト」優秀作品を表彰

人権意識の高揚と啓発を図るため、奥出雲町人権教育推進協議会では毎年、人権標語と人権イラストを募集しています。

今年は、標語に858点、イラスト44点の応募があり、12月7日、横田コミュニティセンターで表彰式が行われました。各部門の最優秀は次のとおりです。

【標語の部】 つばくら はな 坪倉 花さん(阿井小4年) 『あのときに 言えばよかった ごめんねを』

【イラストの部】 ふくだ ゆずき 福田 柚月さん(横田高等学校1年)

